

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告書 (中間・結果)

実施事業名	鉄道によるまちづくりプロジェクト		
団体（グループ）名	えべつ1/1会	代表者名	石田 武史

① 地域の課題 [課題を何と考えて事業を行った（行う）のか]	課題として、住民活動やまちの活性化が強く望まれている地域にあって、江別の発展を支えてきた江別駅（鉄道）の歴史等とおして、市民や観光客を江別地区に集め、課題の解決に寄与しようとするもの。
② いつ [事業実施日時]	別紙記載のとおり
③ どこで [場所]	別紙記載のとおり
④ 誰のために [対象者]	別紙記載のとおり
⑤ 実施内容・進捗状況 [どんなことをした（する）のか]	別紙記載のとおり
⑥ 事業の効果 [どんな効果があった（ある）か]	これらの事業を行ったことで、駅の利用者に活動を見てもらったり新聞等の告知や結果掲載をいただいた。その後、当会の存在が市民には認識されていると感じている。そして、活動によっては市民の積極的な協力も得られている。子どもたちの参加や保護者らの見学もあり、来年度以降も同種事業が望まれると感じている。
⑦ 事業の展望 [今後どうするのか]	来年2月には数年前から実施しているエキテラ（江別駅前の三角公園をアイスクャンドルを製作、配置して装飾するほか、江別駅横にも設置する）を予定しており、その場でも、日本酒の販売ができるよう業者と検討中であり、そこでも本事業で製作したトートバックを配布する予定でいる。

自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）
別添のとおり

②いつ ③どこで ④だれのために ⑤どんなことをしたのか

(塗り絵)

令和4年7月から、認定こども園もりのひだまり、ニチイキッズえべつ駅前保育園、ラブクローバーの保育園、愛保育園、若葉幼稚園、大谷幼稚園、の児童にJR北海道のウェブサイトから塗り絵の下絵をダウンロードしたものをそれぞれ20名程度分を渡し、期間を決めて完成させてもらい、後日収集して、大体2園くらいずつをまず江別駅舎内に設置したボードに貼り付け、乗降客や保護者、関係者に見てもらった。その後、その絵を真願寺に移動し、そちらにも展示を行った。

(江別駅140周年記念事業)

令和4年7月30日 31日、の両日、江別駅正面横において、テントを張って商品を展示し、江別産の米と江別神社の御神水を使って小林酒造が造った「瑞穂のしずく」300mlを江別市内の酒店が販売した。その際、我々の会員がデザインした「江別駅開業140周年記念」のラベルを小林酒造に作成してもらい、それをビンに貼付して記念品として販売した。販売本数は168本である。

なお、当初の予定では、大学ゼミの企画と時期を合わせることを計画し、ゼミの教授とも打ち合わせをしていたが、コロナ感染症の状況や学生の勉強などの関係で日程を合わせることができず、当事業は単独で行った。

(日本鉄道保存協会登録記念フォーラム)

令和4年11月13日に、江別市コミュニティセンターにおいて、江別駅が正式に開業した11月13日に合わせて、表記のフォーラムを行った。

講師3人を招聘し、「歴史を活かしたまちづくりと地域活性化」「江別市内における鉄道遺産の現況について」「北海道の歴史的資産について」などの講演を行い、その後、来場者と意見交換を行った。会場には40名程度の参加があった。

(トートバックの配布)

当初の計画では、上記日本酒の販売に間に合うようにバックを作成する予定であったが、間に合わず配布できなかった。正式に配布を開始したのは、塗り絵の貼付期間を完了して園児たちに絵を返却する際に人数分を配布したのが最初となった。

その後、フォーラムにおいては、資料をこのバックに入れて来場者に配布し好評を得た。また、フォーラムの講師からも、歴史が感じられる面白いデザインであると評価をいただいた。

えきてら kids!!
おえかきであうえんプロジェクト

STATION
140th
COMMEMORATION

ぬりえ&イラスト大募集!!

江別駅設立140周年を記念して、大好きな電車の絵を描いて駅を応援しましょう!! 電車がテーマであれば、どんな絵でもご参加いただけます。詳しい募集内容については別紙をご覧ください。ご応募いただいた作品はJR江別駅構内の特設コーナーにて展示いたします。参加して下さったお子さまには記念品【応募期間】いたします。ぜひ、ご応募ください!!

2022年6月25日～7月29日



2

711系 近郊型電車 1968-2015

祝

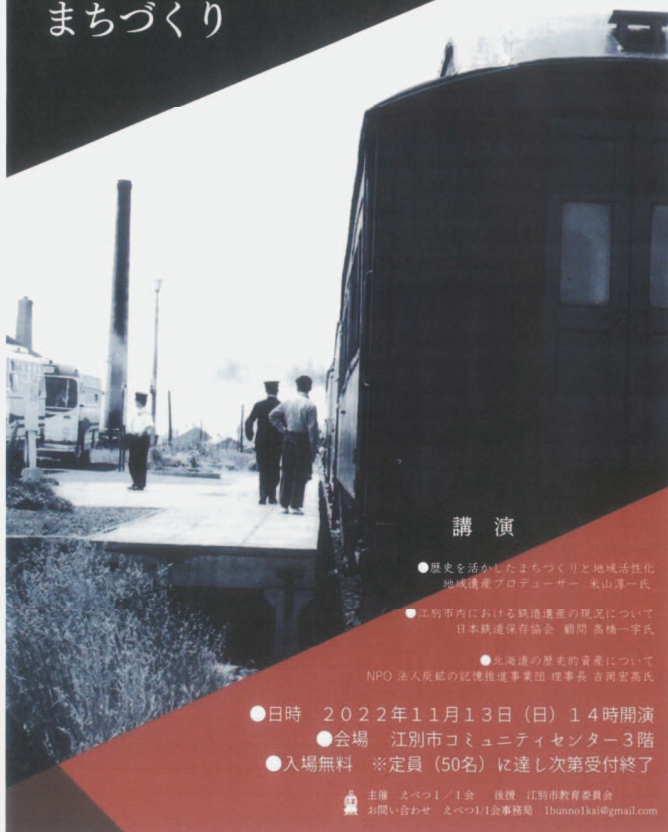
1882年11月13日開業

江別駅開業140周年



日本鉄道保存協会登録記念フォーラム

鉄道の歴史を活かした まちづくり



講演

- 歴史を活かしたまちづくりと地域活性化
地域遺産プロデューサー 米山洋一氏
- 江別市内における鉄道遺産の現状について
日本鉄道保存協会 顧問 高橋一平氏
- 北海道の歴史的遺産について
NPO 法人歴館の記憶推進事業団 理事長 吉岡宏高氏

● 日時 2022年11月13日(日) 14時開演
● 会場 江別市コミュニティセンター3階
● 入場無料 ※定員(50名)に達し次第受付終了

主催 エベツ1/1会 後援 江別市教育委員会
お問い合わせ エベツ1/1会事務局 1bunnoikai@gmail.com

